

シラバス(理数生物)

科目名	生物	学年	3	使用教材	教科書	生物	数研出版
		必修修の別 (必・選必・コース選)	選必				
学科	普通科	単位数	4		副教材	リードLightノート 生物 ニュースステージ新生物図表 2020セミナー生物基礎＋生物	数研出版 浜島書店 第一学習社
系統科目	生物基礎(1,2年選必・2単位)、生物基礎探究(3年選・2単位)など						

【学習目標】

- 1 生物とそれを取り巻く生命現象に対する関心を高め、その中に問題を見いだし意欲的に探究する活動を通して、規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させる。
- 2 生物や生命現象について観察、実験を行い、観察・実験技能を習得させ、観察・実験の結果を考察して自らの考えを導きだし表現する能力を育てるとともに、細胞や植物や動物の生殖・発生、遺伝、生物の生活と環境について理解させ、これらの事象に対する科学的な見方や考え方を養う。
- 3 生物とそれを取り巻く自然の事物・現象を調べる活動を行い、自然の調べ方を身に付けるとともに、これらの活動を通して自然環境を保全し、生命を尊重する態度を育て、自然を総合的にみることができるようになる。

【学習方法のポイント】

- 日々の授業の復習を、その日のうちに行う。
- 語句の暗記に終始せず、学んだ生物現象について自らの言葉で説明できるようにする。
- 教科書や問題集を活用し、問題演習を通して理解を定着させる。

【学習評価と観点】

- 次の4つの観点に基づき、学習内容のまとめりとともに下記の評価マトリクスにより評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①自然事象への 関心・意欲・態度	生物学の基本的な概念の形成を図るとともに、生命現象を学習し、細胞分裂のしくみ、体のつくり、生物のふえ方、器官形成、遺伝、遺伝子の本体、動物の行動、恒常性、植物反応と調節などに関心をもち、意欲的に探究の方法を追究する活動を行うとともに、自然環境を保全し生命を尊重しようとする態度を養う。					
②思考・判断 (科学的な思考)	中学校理科との関連を考慮しながら、仮説の設定、実験の計画、情報の収集、調査を通して、探究の過程を重視しながら、科学的な思考力、判断力を育成する。 基本的な学習内容を整理・整頓をし、仮説をしっかりと立て、科学的な見方や考え方により、課題を整理し、取り組もうとする。					
③観察・実験の 技法・表現	各項目の学習活動と関連させながら、観察、実験の基本操作を習得するとともに、規則性を見いだしたり、自らの考えを導き出したりして創意ある報告書の作成や発表を行わせる。また、対照実験、データの解釈など探究の方法を習得させる。具体的には観察・実験したことをレポートにスケッチをしたり、自分の考えでまとめたり、調べたことを整理して、発表できるかを評価する。					
④自然事象について の知識・理解	観察や実験を通して、生物とそれを取り巻く自然の事物・現象に関する原理・法則や基本的な概念を理解し、知識を身に付ける。知識は基本的には定期考査で確認され、観察・実験のレポート、小テスト、学習での取り組み等を各単元での目標に準拠した観点別評価に基づき全体の評価・評定を実施する。					
	評価方法／観点	①	②	③	④	備 考
	学習状況観察	◎	—	—	—	
	リードLightノート	◎	○	◎	○	その他課題プリントや実験レポートを含む
	テスト	—	◎	○	◎	定期考査・小テスト

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

- 学習の記録簿を活用することで、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

【定期テスト範囲(目安)】※追加・変更することもある。

			教科書(単元)	備 考
学 期	1学期	中間	生命現象と物質	
		期末	生殖と発生	
	2学期	中間	生物の環境応答	
		期末	生態と環境～進化と系統	
	3学期	学年末	—	

【学習サポート】

- 大学入試問題など、授業の教材以外についても対応しますので、ぜひ質問に来て下さい。
- 学習方法や問題集選びなどの相談にも対応します。